



ければと思う。

■ 年配の方々の中には、ここ（湯沢市）は災害が起きないから大丈夫という意識の人が多く感じる。保育園などでの防災教室の中で、お孫さんを通じての祖父母への声掛けをお願いしている。

**Q. 女性消防団員の活動について**

■ 現在、女性消防団（女性部）は湯沢地域班と皆瀬地域班で構成され、稲川地域と雄勝地域には女性部団員がいない。稲川・雄勝地域での入団呼び掛けが必要。

■ 避難所では、女性の避難者は男性団員に対して言いづらいこともあると思うので、地域の偏りがないよう地域に精通した女性団員を配置する必要がある。

■ 一般的な消防団活動は広報されるが、女性消防団員が担う防災教室などの活動は発信される機会が少ないと感じる。女性消防団員の魅力や活動をもっと情報発信していくべき。女性消防団員の確保につながると思う。

**Q. 市や市議会に期待することは？**

■ 子どもや親子連れが楽しめる催しと抱き合わせて防災イベントを開催してはどうか。多くの皆さんに参加していただけるし防災意識の高揚につながる。

■ 女性を対象にした女性目線の防災講習会を企画・実施してほしい。女性の視点から災害や防災を考える機会となり、女性消防団員の確保にもつながるのではないか。

■ 女性消防団員は、災害時には避難所運営や被災者のメンタルケアなどの後方支援の役割を多く担うが、その活動に関する知識やノウハウを習得する機会が少ないので訓練や研修会を実施してほしい。

■ 女性消防団員に求められる役割が幅広くなっているが、団員数が少なく担える活動が限定的になる。地域自治組織などと協力して役割分担ができる体制を整えてほしい。



**高橋委員長** 活動を更に充実させるために必要なことは何でしょうか。

**佐藤団長** 女性団員の活動をもっと積極的に市民の皆さんへPRすること、地域バランスのとれた市内全域での女性団員の確保が必要だと思っています。また、活動に当たっては職場や家族の理解が不可欠ですので、ご協力をお願いしたいと思います。

**高橋委員長** 女性消防団員に期待することは？

**佐藤団長** 災害時の避難所運営など、女性団員の活動の場面が拡大しています。自主防災組織や地域自治組織などの役割分担や連携を確立しながら、地域に信頼され頼られる存在としての活躍を期待しています。

**高橋委員長** 今後の消防団活動についての思いは？

**佐藤団長** 時代の変化や情報化社会の進展により団員の意識も変わってきています。今まで以上に団員同士のコミュニケーションを大切にしたいと考えています。

